

パラ・パワーリフティングの歴史

2014年のある日、「僕の教え子が1964年の東京パラリンピックに出場したんだよ。」と、パラ・パワーリフティング連盟の前名誉会長であり、長年ボディビル界に君臨してこられた、故 玉利齋氏が言われた。そこで、パラ・パワーリフティングの始まりを知りたかった私は、ご無理を申し上げて、玉利氏のお友達で、日本障がい者スポーツ協会 前会長の北郷勲夫氏を訪ね、1964年当時のアルバムを見せていただいた。

そこで、パラ・パワーリフティングが「ウェイトリフティング」という名前で、1964年の東京大会で第一回の障がい者ベンチプレス競技が行われたことがわかったが、残念ながら、日本人選手が出場していたという事実を見つけることが出来なかった。

それが、2018年2月、「江戸川区の広報に、パラ・パワーリフティングは1968年以来、メダルを取っていない」という記事がでていと連絡を頂いた。そこで、IPCのホームページの過去のパラリンピックを見てみると、確かに、1968年テルアビブ大会に日本選手が3人出場しておられたことが分かった。このときも「ウェイトリフティング」と言う種目名で、「パワーリフティング」と言う名称が使われたのは、1992年のソウルパラリンピックからであったようだ。現在のパラ・パワーリフティング連盟が発足したのは、1999年なので、それ以前は、現在の日本パラリンピック委員会が、ウェイトリフティング（パワーリフティング）の選手を直接派遣していたようだ。



1968年第3回パラリンピックがイスラエルのテルアビブで開催された。(資料；IPCホームページ)

過去から現在に至るまで、名称は異なるものの、パラ・パワーリフティングからパラリンピックに参加した選手名とその結果をまとめてみた。

1968年テルアビブ大会日本選手団（資料；日本障がい者スポーツ協会創立20年史より）



1968年 テルアビブパラリンピック

ウェイトリフティング（重量挙げ）（ルールはデッドベンチで現在の挙げ方とは異なる。）

- フェザー級 3位 南雲米八（長野県） 記録：110 Kg
5位 宮澤武利（長野県） 記録：107.5 Kg
7位 小嶋敬止（静岡県） 記録：100 Kg

1972年 ハイデルベルグパラリンピック

ウェイトリフティング（重量挙げ）（ルールはデッドベンチで現在の挙げ方とは異なる。）

- ライトフェザー級 8位 稲本正雄（愛知県） 記録：85 Kg
9位 梅本庄助（和歌山県） 記録：80 Kg
フェザー級 5位 伊差幸弘（神奈川県） 記録：95 Kg

※ 記録不明：大杉孝志（福井県） 100m、砲丸とともに重量挙げ出場と記載あり

この後20年間、重量挙げに出た日本選手はいない

1992年 ソウルパラリンピック

この年からパワーリフティングと名称変更、ルールは現在の挙げ方に。

1996年 アトランタパラリンピック (連盟発足前につき JPC 派遣)

82.5 Kg 級 10 位 大杉隆志 (福井県) 記録 : 160 Kg

1999年 連盟発足

2000年 シドニーパラリンピック

75 Kg 級 15 位 高橋久 (宮崎県) 記録 : 155 Kg

2004年 アテネパラリンピック

67.5 Kg 級 8 位 宇城元 (愛知県) 記録 : 147.5 Kg

2008年 北京パラリンピック

75 Kg 級 8 位 大堂秀樹 (愛知県) 記録 : 187.5 Kg

2012年 ロンドンパラリンピック

48 Kg 級 9 位 三浦浩 (東京) 記録 : 117 Kg

75 Kg 級 7 位 宇城元 (千葉県) 記録 : 180 Kg

82.5 Kg 級 6 位 大堂秀樹 (愛知県) 記録 : 191 Kg

2016年 リオパラリンピック

49 Kg 級 5 位 三浦浩 (東京) 記録 : 126 Kg

54 Kg 級 失格 西崎哲男 (大阪府)

88 Kg 級 8 位 大堂秀樹 (愛知県) 記録 : 160 Kg